

平成 19 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 カ ル ラ
 代 表 者 名 代表取締役社長 井 上 修 一
 (コード番号： 2789)
 問い合わせ先 総務担当取締役 清 水 あ さ 子
 (TEL： 022 351 - 5888)

平成 20 年 2 月期中間(非連結)業績予想との差異及び通期(非連結)業績予想の修正並びに特別損失の発生に関するお知らせ

平成 20 年 2 月期 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) の業績予想について、平成 19 年 4 月 5 日付当社「平成 20 年 2 月期決算短信 (非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上について

当下期において売却及び閉店を予定している店舗について、閉店までのキャッシュ・フローがマイナスと見込まれるため当中間期に減損損失 46 百万円、退店損失 17 百万円の特別損失を計上するものです。

2. 平成 20 年 2 月期の業績予想の修正について

(1) 中間期 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	5, 3 8 5	2 1 6	7 5
今 回 修 正 (B)	5, 0 5 7	5 0	△ 1 0 7
増 減 額 (B - A)	△ 3 2 8	△ 1 7 3	△ 1 8 2
増 減 率	△ 6. 1 %	△ 7 6. 9 %	—

(2) 修正理由

売上高につきましては、当期は出店を抑制し、既存店売上高の回復に注力してまいりましたが、上半期の既存店売上高が前年比 88. 4%となり、当初計画より 328 百万の減少となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上の減少に伴い売上総利益が落ち込んだこと、人件費や広告宣伝費が計画を上回って推移していること等により 173 百万の減少となる見込みであります。

中間純利益につきましては、当初計画外費用として減損損失 46 百万円、退店損失 17 百万円の特別損失を計上すること及び繰延税金資産の取り崩し 70 百万円が発生したこと等により 182 百万の減少となる見込みであります。

(3) 通期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	10,500	403	170
今回修正（B）	10,021	261	14
増減額（B－A）	△479	△142	△156
増減率	△4.6%	△35.2%	△91.8%

(4) 修正理由

売上高につきましては、下期から導入するカルラポイントカードを販売促進の一環として積極的に行い、売上高回復に取り組んでまいりますが、ポイントカード導入が遅れたこと、上期の既存店売上高が当初計画より下回ったこと等により通期では約 479 百万円の減少となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上の減少に伴い売上総利益が落ち込むこと、上期において人件費や広告宣伝費が計画を上回って推移していること等により通期では 142 百万円の減少となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上期において特別損失として減損損失 46 百万円、退店損失 17 百万を計上すること及び繰延税金資産の取り崩し 70 百万円が発生したこと等により 156 百万の減少となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	5,299	321	131
通期	10,127	323	85

以上